

山陽学園大学総合人間学部 生活心理学科ニュース 第6号

1年生全員が養護老人ホーム・公民館・ 学童保育・連合町内会HP委員会研修

10月22日から11月19日まで、生活心理学科1年生が、大学がある平井の街に出て学ぶ「平井ラーニング」を行いました。実習風景をご紹介します。生活心理学科では月曜日から金曜日まで「毎日見学ツアー」(予約制)を実施しています。参観お待ちしております。

養護老人ホームで交流。



最初に、ホームの職員の方から説明を受けました。入園者の方々に食堂に集まっていただくことになりました。



折り紙をしました。お教えしたり教わったりしているうちに打ち解けてることができました。折り紙をする時、入園者の方から「折り方の説明図が欲しい」と希望された学生は、自宅で説明図を見つけ、コピーをホームへ届けました。

公民館で子どもたちの読書 促進に役立つものを作る。



東山公民館では「図書室に置く、子どもたちがもっと読書に親んでもらえるようなものを作ってもらえないか」との要望を受けました。本の内容を紹介する絵入りボードや、本の並び順を示す表示などを作りました。



平井小学校学童保育クラブ で算数の教具作り。



平井小学校の校庭にある小学1年から3年生が放課後過ごすクラブです。1年生が勉強する足し算の繰り上がりを理解する「さくらんぼ算」を、もっと理解しやすくする教具を考えました。3週間かけて作り、クラブの先生に使いたい方をお伝えしました。

実習は終了しましたが、学生達は、アルバイトでクラブのお手伝いに行くことになりました。



町内の落書きをチェック。

平井学区連合町内会ホームページ編集委員会の方々のご案内で、街の落書きの状態を見学に行きました。毎日通学している街ですが、落書きのひどさに改めて驚きました。



教室に帰ってから連合町内会のホームページも見せていただきました。本学を紹介したページを作っていたのには驚きました。

学生達から「落書きを消したい」との強い声が出ています。連合町内会の方々も期待されています。さほどの落書きから消しましょうか。

早速、平井連合町内会のホームページに学生達の落書きチェックが掲載されました。

右が『大学のある町平井を知ろう：学生達がタウンウォッチング』と題した記事の一部です。取材はホームページ編集委員で、以前新聞記者をされていた方。さすがプロが書かれた記事です。写真もすばらしいアングルです。「平井連合町内会」で検索してみてください。学生達の投書も載っています。

<http://townweb.e-okayamacity.jp/hirai-rengou/index.htm>

